

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.4

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会長 帆足嘉寿大
会長ノミニー 脇村利恵子
副会長 芝池福子
幹事 佐藤三千秋

“ ローティーのために手を貸す人々 ”

第 2292 例会 令和7年8月4日（月曜日）第4号

本日の例会	8月 4日（月） 第1例会 ◎ソング「奉仕の理想」
本日の献立	軽食カレー
次回の例会	8月 18日（月） 第2例会
次回の卓話	新年度方針説明
青少年奉仕 阪上武仁	
R財団委員会・会計 尾崎 元	
米山奨学記念（兼カウンセラー）・SAA 名村美紀	
次回の献立	中国料理
前回の例会	7月 28日（月） 第3例会
ガバナー公式訪問・7クラブ合同例会 於：ヒルトン大阪 5階 「桜の間」	
ガバナー講話 2660 地区ガバナー 吉川健之	

今年度ガバナーを拝命しております吉川健之です。本年度のガバナー公式訪問は合同例会方式を中心に行っております。お忙しい中、多くの方にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、例会場提供クラブには準備および本日の運営に対し、多大なるご尽力を賜り深く感謝申し上げます。先月、RI会長エレクトの予期せぬ辞任劇があり、改めてフランチェスコ・アレツォ氏が就任されました。カルガリー国際大会でもご挨拶させていただきましたが、大変温厚な方とお見受けしました。

さて、第 2660 地区の 2025-26 年の活動スタンスを伝えさせていただきます。

Enjoy Rotary through learning & personal exchanges.
学びと交流を通してロータリーを楽しもう。
今やらなければいけないことは、クラブの活性化、すな

わち地区の活性化です。

そしてキーワードを 2 つご紹介します。温故創新、そして交流であります。ロータリー 100 年を超える歴史があります。伝統と歴史から学ぶものもとても多くあります。そうしたところから、ロータリーのど真ん中にあるもの、思いや考え方をしっかりと学びながらも、今の時代にふさわしい行動様式や、一部、思考パターンも変えていかなければ、環境変化に対応できないことは明らかです。

デジタルの活用も積極的に進めていきたい。バーチャルとリアルの融合の機会も作っていきたいと思います。新たな斬新なスタイルにもしっかりと取り組んでいきたいということあります。

過去にロータリー RI 会長は、変化にというキーワードでもって様々なメッセージを発信されています。

- MAKING A DIFFERENCE 変化をもたらす。
- ロータリーの変革と成長の機会に目を向ける。
- 繼続と変化のバランスをとることの重要性。

常に変化や革新が求められてきました。変化を行動に移すには勇気が要ります。つまずくことも失敗することもあります。ただ、そうした果敢な挑戦や経験が次なる成果につながると信じています。皆さんと一緒に、ぜひチャレンジをしていきたい。そしてチェンジしていかなければいけない。行動方針であります「より大きなインパクトをもたらす」「適応力を高める」という意味においてでもあります。温故創新の精神で存分にチャレンジ・チェンジしていきたい。

次に、交流についてであります。
地区内において新たな交流の機会を創出していきたいと考えています。クラブの活性化も目指さなければなりません。

せん。私は、地区への経験・出向が全くなかったものですから、地区を知るためガバナーミニーの時に78クラブを回らせていただきました。皆さん方には本当に温かくお迎えいただきました。「まだ来るのは早いんぢやいますか?」みたいなことも言われました。温かくガバナーになることを迎え入れていただいて、本当に感謝しています。回りながら、いろんなことを考える良い機会になりました。今年度から交流活性化委員会を新設させていただきます。異なるクラブ同士が、それぞれの奉仕活動や趣味などを通して交流をする。そしてクラブのみならず、地区全体で交流が活性化する。そうすることで、ロータリーの会員であることの楽しさ、価値が増していく、ということで、地区全体が活性化するということを願っています。地区における親睦・交流を交流活性化委員会が主催するのではありません。あくまでバックアップしていくということです。

「SPORT FOR TOMORROW」というのは、タンザニアで私が知った言葉であります。外務省所管の「草の根文化無償協力資金」というものがあります。スポーツを通して地域、国の発展に寄与する。スポーツに関わる青少年の育成に寄与する。そして将来の成長を支える人づくりをする。我々もそれの一端に参加させていただいて、甲子園スタジアムが立ち上ることになったわけです。

地区においても、スポーツを通して、FOR TOMORROW、すなわち明日のロータリーを活性化するための仕掛けにできないだろうかということです。スポーツや趣味を通して、仲間、先輩、後輩といったつながりによってロータリーの入会促進にもつながります。退会防止にもなる。こうした交流活動を積極的に進めいくサポートをしたいということです。

娯楽だけでなく、奉仕活動でも地区における繋がりを生む機会をつくっていきたいと思っております。

地区内では囲碁大会を開催したいと思っております。また、さまざまな同好会活動を、新たにつくった地区的ウェブサイトで共有していきたい。さらには、ボウリング大会も開催したい。参加することでポリオ活動や子ども食堂への支援について形にしたいと考えております。地区内には子ども食堂支援を行っているクラブが多くあります。以上を踏まえ、地区の年次目標は以下の通りであります。

「より大きなインパクトをもたらす。」当該地区は補助金の活用度合いが全国の中でもトップクラスだと財団委員の方からレクチャーを受けました。より早く、自発的に大きなインパクトを呼ぶ、小さなことでもいいですから、財団補助金を使った活動を目の前で、喜びを共有できるような補助金であれば、なお素晴らしいなと思います。そして奉仕活動がインパクトにつながるようなことが実現できればいいなと思っています。

財団寄付目標であります、年次寄付目標:150ドル、ポリ

オプラス:50ドル、恒久基金寄付:30ドル。ローターアクトクラブにも100ドルが求められていますのでぜひお願いします。

参加者の基盤を広げるということでは、衛星クラブの新たな立ち上げや新クラブ立ち上げにチャレンジしていただきたいなと思っています。そして積極的な交流を促進するための合同例会の機会も増やしていただきたいと思っています。交流によるクラブの活性化を促進してほしいという思いであります。

そしてMy Rotaryへの登録。My Rotaryの登録率は上がってきてはいますが、クラブごとにまだ格差があります。登録いただければ様々な引き出しがそこにはあります。ぜひMy Rotaryの登録を進めていただきたいと思います。

本年度のRI会長メッセージは、「よいことのために手を取り合おう」です。さて、各クラブがそれぞれ素晴らしい活動をされていることを実感しております。

例えば、米山奨学金制度。先日、関西米山学友会40周年の式典に出席してまいりました。学友が現役の奨学生をフォローしています。このような活動が事業を支えているのだと思いました。

そして、インタークト。去る6月にインタークトクラブを擁する各学校を訪問してまいりました。

各校共にロータリークラブへは大変好印象を持たれていました。例えば、昨年度の尾身茂先生への対談は貴重な経験となったとのこと。また、大阪・関西万博テーマパーク「平和と人権」では世界に生徒が発信する機会を与えられ、大変名誉なことだと。このテーマパークについては、みなさんも地区的ウェブサイトから視聴登録をお願いしたいです。将来、彼らが大人になった時にロータリーの記憶がよみがえり、ロータリーへの参加者や支援者となってくれることでしょう。

ただ、これらの素晴らしい活動には、資金とマンパワーが要ります。ロータリーの最大の資産は会員そのものであります。したがって、会員増強が求められるのです。地区的会員数は5500人から3500人に減少しています。クラブや地区的交流活性化が必要です。

クラブだけがロータリーではない。クラブ同士を繋げる試みに是非参加を。地区内の会員を知る機会となる、ガバナー月信の「地区内ロータリアンご紹介」へもぜひ協力いただきたい。

最後、お願いばかりになりましたが、何とかしてクラブと地区を盛り上げていきたいと思っています。

一年間よろしくお願い申し上げます。